

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価 A ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 =
	B : 一部達成していない(100%> 80%)	
	C : 達成していない (80%>)	
$\frac{a}{b} \times 100 =$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$
理由 :	本事業は平成2年度より導入されており、それ以前の事務実施においては職員が現地調査から証明図書の作成までを行っていたため、年間約5,000千円の事業費を要していたもので、本事業の導入による改善目標は達成されたものとする。	

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か		
評価 A ▼	A : 適応している	理由 : 用途地域界を明確にすることにより、積極的に望ましい市街地の形成を誘導することに寄与する事業であり、時代変化に適応している。
	B : 一部適応していない	
	C : 適応していない	

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か		
評価 A ▼	A : 妥当である	理由 : 平成13年度の委託費は、受託者側の過当競争により急落しているが、過年度の状況から判断すると経済的にも効率性からも妥当である。
	B : 一部妥当でない	
	C : 妥当でない	

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か		
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 : 個人情報や個人の利害に係ることや、市民の経済活動に直接かかわることから市が実施すべき事業である。
	B : 代替の可能性低い	
	C : 代替の可能性高い	

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか		
評価 B ▼	A : 満足できる	理由 : 調査時間の短縮に係る要望がなされることがある。
	B : 一部満足できない	
	C : 満足できない	

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価 A ▼	A : 有効である	理由 : 都市全般にわたる都市機能の配置や密度構成の観点から土地利用を計画的に誘導するために定められている用途地域や、都市施設の位置等を建物の敷地レベルで証明するなど、上位の施策を実施する上で有効である。
	B : 一部有効である	
	C : 有効でない	

<p>評価バランスチャート</p>	成果向上の余地	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 調査時間の短縮について検討する余地がある。
	コスト改善余地	
	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 委託費用の圧縮については、受託者間の自由競争にゆだねられている。

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	なし
	今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	説明	個人の経済活動に伴う住宅建設等に対する影響が大であると認められ、その作業における精度確保が求められることから、今後も継続する必要がある。
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--